

国大化学会の学生支援について

関 康一郎 (H21 年度卒, 2008 年度学生役員)

H21 年卒業生の関康一郎と申します。私はかつて学生役員を勤めさせて頂きました。今回は学生支援に関しての期待等を文章にしてほしいとの依頼を頂きまして、僭越ながら一筆書かせて頂きます。国大化学会の現状と、今後の期待に分けて書きます。

【支援の現状】

まず現状の確認です。国大化学会が行なっている学生支援は大きく分けて①人的なもの、②金銭的なもの、に分けられます。

まず①の人的支援では、我ら物工の先輩による講演会等です。例えば今年の国大ホームカミングデー(HCD)では、我ら物工出身の相沢益男先生による講演会が開かれる予定です。また学部生の講義で「卒業生と語る会」が毎年開かれており、国大化学会を伝手に依頼していると聞き及んでいます。

次に②の金銭的な支援では、学会発表における交通費の支給、成績優秀者への図書カード贈呈、卒業パーティーの援助を行なっています。交通費支援は、遠隔地での学会発表に行くための交通費を一定額まで支援することで、発表をしやすくするための支援です。個人的な感想と致しまして、横浜国大物質工学科が誇る研究成果を学会で多く発表できるのは素晴らしいことだと思います。図書カード贈呈は、成績上位者(5名程度だと記憶しています)へ図書カードを贈るもので、特に1,2年生の学習意欲を向上させるものです。実際、熱心に学問に取り組む生徒も増えたと聞き及んでいます。私が学生の頃にはなかったため、非常に羨ましい限りです。さらに卒業式の日には例年パーティー開かれていますが、そこでも国大化学会が援助しているそうです。

【今後の期待等】

すでにかかなりの支援を行なっていると思いますが、



国大以外の大学ではどんな支援がされているのか私はあまり知らなかったので、今回独自に調査しました。そこで気になった点が2点あります。

1つ目は卒業生による人的支援の密度です。東大では月1回ほどのペースで、何がしかの卒業生によるイベントが開かれています。例えばベンチャー企業立ち上げの講習会や、アントレプレナー講習会など、ビジネスに関するものです。また就職活動においても卒業生による企業説明会が開かれています。気に入った会社があればその場で選考に申し込むことができます。そして説明会に参加すれば、他の公式日程の説明会に参加したのと同じ扱いになります。こういった支援活動はもっと力を入れて取り組んで欲しいです。

2つ目は非常に個人的な意見ですが、成績上位者に贈られる贈呈品に関してです。多くの大学では、大学の銘が入った時計が贈られることが多いようです。もともと時計を成績優秀者に贈るのは、東大で主席卒業生が天皇陛下から純金の時計を賜っていたことになったものです。早稲田大学は成績上位者に銀時計が贈られています。図書カードは使ったら終わりですが、時計は記念になります。多くに図書カードをあげるよりは、1~2名でも時計のほうが格好良いのではないかと、個人的には思います。

国大化学会への期待

国大化学会前学生役員 中澤 駿忠

昨年度、学生役員（総会・懇親会グループ）を務めさせていただきました中澤駿忠です。国大化学会に期待することについてお話しさせていただきます。近年、学生の国大化学会に対する認知度や所属意識が甘いということをよく耳にします。私は「愛校心」が絶対的に足りていないからだと考えています。

現役の学生には精一杯学生生活を楽しんでもらいたいです。勉強せずに遊べということではありません。学生生活を楽しんだ思い出が母校の発展を想う心に繋がります。では、学生生活を楽しんでもらうためにはどうしたらいいか。学生は好きな研究をしたいと考えています。しかし、アルバイトもしないと生活できないという葛藤を日々しているものと思

われます。そのため、奨学金や学会参加費補助というのは非常に助けになるでしょう。また、就職活動に追われて研究が手につかないという学生もいます。OBOG との交流が増えれば、少しは楽になるのではないのでしょうか。学生生活が楽しかった、国大化学会の援助で助かったと感じながら卒業していく学生は、お世話になった感謝から卒業後に何か自分にもできることはないかと考えることでしょう。

私達卒業生が会費納入や募金、就職支援などに動けば、現役の学生も卒業後に同様に動き、良い循環が生まれます。一緒に国大化学会を盛り上げて、「愛校心」を育みませんか。

国大化学会に望むこと

国大化学会前学生役員 薄井 涼二

前年度、学生役員（企画G）を担当させていただきました。工学府機能発現工学専攻先端物質化学コース 修士1年の薄井涼二です。前年度は企画グループとして力になれたかは自信ありませんがとてもいい経験をさせていただきました。総会では普段話す機会があまりない大先輩方と話ができてとてもうれしかったです。そんな私が国大化学会に期待することは、職場見学などを含めた就職支援や、卒業記念パーティなどにおける金銭的援助を引き続き継続してくれることです。国大化学会の援助のおかげ

で先日の卒業記念パーティはとても盛り上がり楽しむことができました。また、自分は今もうじき就職活動を控えており、就職支援という心強い後押しがあれば、研究も心置きなく取り組み、とてもありがたいです。しかしながらもっとも私が期待することはこの国大化学会が末永く続いてくれることです。自分が将来社会に出ても国大化学会を通して多くの先輩、同輩、そして後輩とつながっているのだという安心感は何にも捨てがたいと思います。これからも国大化学会が発展・継続することを願っています。

国大化学会に望むこと

平成 24 年度工学部物質工学科化学コース卒
平成 24 年度会誌 G 学生役員 川村 紘一

昨年度の会誌には、「国大化学会に期待すること」という題目で記事を書きました。この記事を書いているのもあれからちょうど一年が経過した頃です。時が経つのは本当に速いということを改めて実感しました。

私は今年、横浜国立大学を卒業し、東京工業大学

の大学院に進学しました。周りを取り巻く生活環境が一変し、始めはそれに順応していくので精一杯でした。研究に講義、試験やレポートと積み重なるものが多いものの、今ではだいぶ慣れてきました。そんな東工大は、ノーベル賞を受賞するほどの世界的に著名な方をはじめ、国内でもその分野では誰もが

知っているというような方が講演会を開くためなどで訪問します。学生はこの素晴らしい機会に積極的に参加して刺激を受けているように見受けられます。私もそのうちの一人です。こういった場を提供できるのは、その方と教授や卒業生との「つながり」が最も重要であると思っています。国大化学会も卒業生を大学に招いて学部生に話をするという場を提供しています。学生の意欲をより一層高めるという意味でも、このような取り組みは有意義だと再認識しましたので、今後も継続し、さらなる発展に期待したいです。

上述のような既成の取り組みを維持していくことは比較的単純なことで、考えを練って変化させていくことよりも楽です。しかし、それでは何も前に進みません。せっかく学生を支援するための国大化学会という組織が存在するのだから、それを目一杯利用しないわけにはいきません。国大化学会は「会」であって、必ずしも役員数名で学生全員をフォローできるというわけではありません。私も含め、会員である卒業生が一丸となって後輩たちが活躍できる場を提供していくものだと思います。ぜひ、みなさんで国大の化学科を盛り上げていきましょう。

国大化学会への期待

国大化学会前学生役員 白石 奈々恵

前年度、国大化学会の学生役員を務めました。環境情報学府修士1年の白石奈々恵です。今年から横浜国立大学院に入学し、有機合成化学を研究しております。

わたしが国大化学会という組織を知ったのは、今から2年前に、国大化学会の懇親会に参加したときでした。当時学生役員をされていた先輩から、招待のメールをいただいたのがきっかけでした。わたしと同じ分野を大学で研究し、社会に出た方のお話を聞く機会は普段あまりないので、懇親会はわたしにとってとても貴重な時間となり、それから毎年参加しています。

国大化学会はそのほかに、OB訪問として、先輩が働いている企業に実際に訪問できる機会を設けてくれています。また、金銭支援として、奨学金や学

会参加費の援助を行っています。化学系の研究をしている学生は、課題や実験に常に追われているため、OB訪問を自分から行うことや、バイトをして生活費や学会の資金を貯めることが難しい学生も少なくないはずですが、だから、これらの活動は学生にとってとても心強く、学生が存分に勉学に集中できる助けになっていると思います。そして、このような支援を受けた学生は、国大化学会の活動を理解し、自分も会員であるという自覚をもって、卒業後、今度は支援する側となって国大化学会を盛り上げていくのだと思います。

これからも、このように学生と国大化学会の輪が広がっていくことを、そして、国大化学会が今後も発展していくことを願っています。わたしも微力ながらお手伝いさせていただきたいと思います。

国大化学会に望むこと

H24 年度学生役員 楨野 義輝

本年度の総会は常盤台のキャンパスで行われ、大いに盛況いたしました。我々学生が日々このキャンパスで学びに勤しむことができますのも、ひとえに諸先輩方のご支援あつてのことであると感謝しております。

さて、これから秋の学会シーズンの到来です。自らの研究結果を広く報告し、また、多くの方々と

ディスカッションする良い機会です。学会参加の援助もまた、国大化学会のご支援を頂いております。私たち学生が多くの学会に参加するための経済的援助をしていただいていることに感謝しております。

今後も、先輩方のご支援を頂きまして勉学に励んでまいります。